

グループ会社の取り組み

01

TRANSPORTATION
BUSINESS

運輸事業

東武バス、朝日自動車、東武運輸等で構成される。バス・タクシー業は安全を第一に、東武バスと朝日自動車の統括の下、事業の効率化やサービス向上に努める。貨物運送業は東武運輸グループによる一体運営で、貨物の輸送・配送、保管等の物流サービスを展開。事業エリアは関東を中心に静岡、名古屋、大阪をカバーする。東武デリバリーは情報資産の保管管理、精密重量物の輸送管理・設置等を担う。

TOPIC

優れた環境性能を有するバスにより、サステナブルな社会を目指す

東武バスを中心とする東武バスグループは、環境への負荷を低減し、サステナブルな社会を実現するため、様々な取り組みを行っている。

東武バスウエストは、2020年12月に燃料電池バス「SORA」の営業運行を開始した。導入したのは、水素と空気中の酸素の化学反応で発生した電力によりモーターを駆動させる車両で、CO₂などの環境負荷物質を排出しない優れた環境性能を有している。他のディーゼルバス車両に比べて走行音も静かで、騒音等の都市環境の改善も期待できる。

併せて、東武バスウエストでは2023年5月より埼玉県新座市のコミュニティバス「にいいバス」において、蓄電池に蓄えた電気で走行するEVバスの運行を開始した。さらに、2025年にはEVバスへの「停車中ワイヤレス充電（SWPT）」の実証事業を行う。充電装置上にバスを停車させ、自動的にバッテリーへ充電を行うシステムで、本格導入を視野に入れた営業路線における長期運用として、国内バス事業者で初めての取り組みとなる。



東武バスウエストの燃料電池バス「SORA」。主に鶴瀬駅東口～ららぽーと富士見で運行（提供：東武バス）



東武バスウエストが運行を受託する新座市コミュニティバス「にいいバス」のEVバス「J6」（提供：東武バス）



日光エリアで実証運行を行った廃食油由来のバイオ燃料バス（提供：東武バス）



奥日光低公害バス路線（赤沼車庫～千手ヶ浜）の実証実験で使用された自動運転EVバス（提供：栃木県）

また、東武バス日光は2023年8月～2024年3月、環境省の脱炭素先行地域に選定されている奥日光エリアをはじめとした日光エリアの路線で、廃食油由来のバイオ燃料バスの実証運行を実施した。実証運行後、栃木県内の東武グループ各施設で生じる廃食油を用いたバイオディーゼル燃料を路線バス等で使用する検討を進めている。この取り組みにより地産地消型のエネルギーサイクルを構築し、CO₂排出量を年間70 t以上削減することを見込んでいる。

さらに、東武バス日光は2023年9～10月に、日光自然博物館、東武鉄道、栃木県と共に、奥日光低公害バス路線（赤沼車庫～千手ヶ浜）において自動運転の実証実験を行った。将来的に自動運転システムを導入した路線バスの本格運行を目指す「栃木県ABCプロジェクト」の一環として実施したもので、同プロジェクトでは初となる営業バス路線での実証実験となった。この実証実験によりノウハウを蓄積し、サステナブルな社会の実現とともに、労働力不足の解消を目指す。

TOPIC

顧客のニーズに応えた物流サービスと再生可能エネルギーの「自己託送」

東武運輸は、荷主企業からの様々なニーズに応え、企業物流を支えている。同社は2023年6月、埼玉県春日部に「埼玉東物流センター支店 1号棟倉庫」を開設。お菓子の共同配送センターとして、定温設備とドッグシェルター（車両と倉庫搬入口を隙間なく密着させる装置）を設置し、倉庫内の温度を20℃前後に保つことで、保管商品の品質を維持している。

また、同施設では、2023年8月から東武グループ各社が協働し、再生可能エネルギーの「自己託送」制度を活用した取り組みも行われている。東武商事が発電事業者として、同施設の屋根に太陽光発電所を設置。発電した電力を一般送配電事業者の送電網を利用して、約4 km離れた東武動物公園（運営：東武レジャー企画）へ送電している。脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、東武グループにとって初となる電力の自己託送制度の活用となった。電力の自己託送は、発電事業者と需要家である送電先がグループ企業などの密接な関係である場合に活用できる制度で、離れた場所で発電した再生可能エネルギーを効率的に利用できる。これにより、東武動物公園は電力使用量のうち約19%を再生可能エネルギーに転換し、年間約319tのCO₂を削減している。



東武運輸は、貨物輸送をはじめとした幅広い物流サービスを提供し、企業物流を支えている



東武運輸の埼玉東物流センター支店1号棟倉庫。屋根には東武商事の太陽光発電所が設置されている（提供：2点とも東武運輸）

【社名一覧】

東武インターテック(株)
東武エンジニアリング(株)
東武ステーションサービス(株)
東武トラベルサービス(株)
上毛電気鉄道(株)
上電興産(株)
朝日自動車(株)
阪東自動車(株)
日光交通(株)
関越交通(株)

川越観光自動車(株)
茨城急行自動車(株)
国際十王交通(株)
桐生朝日自動車(株)
朝日カーメンテナンス(株)
東北急行バス(株)
東武バス(株)
東武バスウエスト(株)
東武バスセントラル(株)
東武バス日光(株)

東武運輸(株)
東武物流サービス(株)
(株)群馬ロジテム
(株)栃木ロジテム
(株)東海ロジテム
(株)埼玉ロジテム
東武デリバリー(株)
野岩鉄道(株)

グループ会社の取り組み

02

LEISURE
BUSINESS

レジャー事業

東武興業、東武トップツアーズ、東武ホテルマネジメント等で構成される。ホテル業は宿泊や料理などの高品質なサービスを通し、観光からビジネスまで幅広いニーズに応えるブランドを展開。スポーツ施設は駅に近いエリアで運営し、地域に密着したサービスにより、「楽しさと健康」を提供。東武ワールドスクウェアや東武動物園などのテーマパーク、旅行、スキー、ゴルフ、ロープウェイ、遊覧船などの事業も展開している。

TOPIC

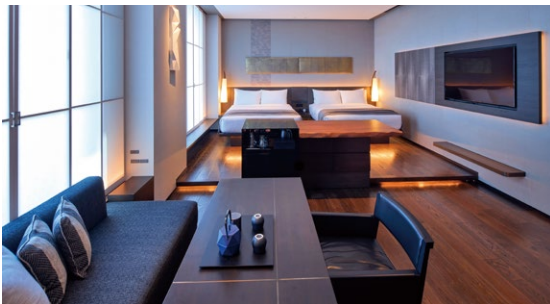
異なるコンセプトのホテルを展開し 国内外の多様なニーズに対応

東武ホテルマネジメントは、マリオット・インターナショナルと提携したホテルのほか、地域の特性を生かしたフルサービス型ホテル、宿泊主体型ホテルなどを10軒、また、レストランを1軒展開し、国内外の幅広いニーズに込えている。

日本初進出のACホテルブランドとして2020年に開業した「ACホテル・バイ・マリオット東京銀座」は、自宅のようなくつろぎとぜいたく感を実現。隣接する「コートヤード・マリオット銀座東武ホテル」は、2023年にリニューアルオープン。機能・デザインの両面でバージョンアップし、気軽に訪れたいホテルへ生まれ変わった。

東武沿線でのホテル展開にも注力し、2020年に「浅草東武ホテル」「川越東武ホテル」「和光市東武ホテル」の3つの宿泊主体型ホテルをオープン。観光やビジネス等の利用シーンにあわせ快適なホテルライフを提供している。

さらに、墨田区エリアでは「東武ホテルレバント東京」のほか、東京スカイツリー天望デッキで日本一の眺望を誇るレストラン「Sky Restaurant 634」を運営している。



ACホテル・バイ・マリオット東京銀座のプレミアム客室。ナチュラルテイストな色合いに大きな窓を配した開放感のある空間



東京スカイツリー天望デッキにあるSky Restaurant 634。地上345mからの絶景と絶品の料理を堪能できる（提供：東武ホテルマネジメント）

〔社名一覧〕

東武レジャー企画(株)
東武ワールドスクウェア(株)
東武スポーツ(株)
東武興業(株)
奥日光開発(株)
東武ゴルフサービス(株)

東武トップツアーズ(株)
トップ・スタッフ
ティーティーイー、INC.
トップツアーヨーロッパ LTD.
仙台国際ホテル(株)
東武ホテルマネジメント(株)

金谷ホテル(株)
レーキサイドホテルシステムズ(株)
東武タワースカイツリー(株)
日光自然博物館(株)
蔵王ロープウェイ(株)

03

REAL ESTATE
BUSINESS

不動産事業

東武不動産、東武タウンソラマチ等で構成され、地域の活性化、にぎわいづくりに貢献している。不動産仲介や駐車場・駐輪場の運営管理を行う東武不動産は、首都圏を中心に良質な不動産情報の提供、不動産の最適活用企画提案を行う。東武タウンソラマチは、東京スカイツリータウンの施設管理や東京ソラマチの商業運営を行い、継続的な収益強化を図っている。

TOPIC

東京スカイツリー周辺地域の にぎわいづくりプロジェクト始動

東武不動産は2020年、年間約4,000万人が訪れる東京スカイツリータウンへの来訪者を周辺地域にも誘導し、地域全体のにぎわいづくりを目指す「ことまちプロジェクト」をスタートした。

その一環で取り組むのが長期滞在型の宿泊施設「T-home」だ。1棟当たり1～4室程度の小規模な宿泊施設で、観光客により地域の魅力を知っていただくため2018年から押上エリアで展開している。主な特色は、「部屋の種類」と「設備」で、客室定員は4名～最大10名と大家族やグループでの宿泊が可能。リーズナブルな料金設定に加え、室内にはキッチンや家電、食器類を完備し長期滞在できるため、多くのインバウンド観光客が利用している。2024年9月には2棟構成の「T-home彩(SAI)」がオープン。施設内には日本料理店も出店する。T-homeは、現在5棟13室を運営しており、今後も押上エリアで事業を拡大する予定だ。東京スカイツリータウンを訪れる観光客が周辺を回遊し、地域全体ににぎわいをもたらすまちづくり事業を推進していく。



2024年9月にオープンしたT-home彩(SAI)。全3室で1室当たり6～8名が宿泊可能



内装は和テイストを取り入れ、家電や備品が充実している。インバウンド観光客にも好評

(提供：2点とも東武不動産)

〔社名一覧〕

日本パーキングビルサービス(株)
東武不動産(株)
東武タウンソラマチ(株)

グループ会社の取り組み

04

MERCHANDISE SALES
BUSINESS

流通事業

東武百貨店、東武宇都宮百貨店、東武ストア等で構成される。東武百貨店 池袋店・船橋店、東武宇都宮百貨店 宇都宮店はターミナル駅の特性を生かし、地域の活性化やイメージアップに貢献している。東武ストアは「地域で一番買いやすい店づくり」を目指し、店舗価値の向上を図る。東武商事はフランチャイズ店舗を駅ナカ等で展開し、幅広く利用されている。

TOPIC

産学連携企画、地元自治体との連携で 地域に貢献する「新ターミナル百貨店」へ

東武百貨店は地域に密着し、沿線のお客様に貢献する「新ターミナル百貨店」を目指し、多様な取り組みを行っている。池袋店は2023年秋、レストラン街スパイスで産学連携企画「チャレンジ・ザ・グルメ2023」を実施した。東京家政大学（東京都板橋区）で栄養学を学ぶ学生が、チーズをテーマに各店舗とメニューを共同開発。全46の新メニューを41店舗で提供し、好評を博した。

船橋店は2022年、「船橋市と株式会社東武百貨店船橋店との包括的な連携に関する協定」を締結。協定では市と同店が協働し、地域の活性化・市民サービスの向上を目的に、地産地消の推進、文化・芸術振興など9つの事項で連携。一環として、市立船橋高校美術部・書道部の作品展示などを行う「船橋東武秋の文化祭」を開催した。

また、2024年11月に開店65周年を迎えた東武宇都宮百貨店 宇都宮店は、地域の皆様に愛される百貨店であり続けることを目指し、『お客様のご要望をカタチに』をテーマに、新規店舗のオープンや物産展の開催等、多様な要望に応える取り組みを実施した。



2023年8～9月に行われた東武百貨店 池袋店のレストラン街各店の店長と、東京家政大学の学生との打ち合わせの様子（提供：東武百貨店）

願いをカタチに
65th
Anniversary

東武宇都宮百貨店 宇都宮店の開店65周年ロゴ。多様化する価値観や趣味趣向をカラフルな色で表現した（提供：東武宇都宮百貨店）

〔社名一覧〕

(株)東武百貨店
(株)東武友の会
(株)東武カードビジネス
(株)東武宇都宮百貨店
東武商事(株)
東武食品サービス(株)

(株)東武ストア
(株)東武警備サポート

05

OTHER
BUSINESS

その他事業

東武建設、東武谷内田建設、東武ビルマネジメント等で構成される。東武建設と東武谷内田建設は大規模施設の建築から土木工事まで地域に根差した事業、東武電設工業は電気設備工事、東武緑地は公園等の植栽・緑化を展開。大型ビルの設備管理等を担う東武ビルマネジメント、骨材・生コンクリートを扱う東武開発、地域エネルギーを供給する東武エネルギーマネジメントなど、安心して住み続けられるまちづくりに貢献している。

TOPIC

隅田公園の指定管理業者として エリア全体の価値向上を目指す

2023年10月、東武鉄道を代表企業とし、東武緑地、東武ビルマネジメント、プロジェクトブレインから構成される共同事業体「すみだパークマネジメントグループ」が、墨田区が公募した「墨田区立隅田公園の一部(以下「隅田公園」)における指定管理者」に選定された。墨田区内の公園における指定管理者への選定は、同グループが先駆けとなる。

2025年4月より隅田公園の管理運営を担う同グループは、運営方針として「すみだの日常に触れ、まちを知るきっかけとなる『まちあるき拠点』」を掲げる。植栽などの公園施設の維持管理だけでなく、東武グループが浅草・東京スカイツリータウンエリアで培った観光・産業等の知見とノウハウを生かし、公共空間利活用の促進及び浅草・東京スカイツリータウンエリアの情報発信を推進。エリア全体の価値向上を目指す。公園内には区内飲食店が運営するカフェも設置し、飲食利用のみならず、地域の方々の新たな活動拠点となるようなコミュニティの創造も図っていく。



隅田公園は「東京ミズマチ」に隣接。都市公園を利活用することで、エリア全体の価値向上を図る



隅田公園は浅草・東京スカイツリータウンエリアの中心に位置する

〔社名一覧〕

東武電設工業(株)
東武建設(株)
東武栃木生コン(株)
東武開発(株)
東武谷内田建設(株)
東武緑地(株)

(株)TOYO
東武シェアードサービス(株)
(株)東武保険サービス
東武ビルマネジメント(株)
西池袋熱供給(株)
錦糸町熱供給(株)

(株)東武エネルギーマネジメント
(株)シンフォニア東武
東武ビジネスソリューション(株)